



## 札内川ダムフラッシュ放流について

6月25日から27日にかけて、中札内村の札内川ダムで年1回のフラッシュ放流を行いました。フラッシュ放流とは、一時的にダムから多くの水を流すこと（Flush）で、川底の砂や礫の移動を促し、昔から札内川にいた動植物の生育地や生息地を守る取組です。

テレビのバラエティ番組で取り上げられたことによって、より多くの方に礫河原再生事業を知ってもらうことができました。



←フラッシュ放流

礫河原↓



## 十勝ダム見学会について



7月27日に行われた十勝ダム見学会には、14名（大人6名、子供8名）が参加されました。「ダムの水はどこまで貯まるのか。」など質問がありました。普段見ることができない監査廊（ダム内部のトンネル）や出力4万キロワットの十勝発電所も併せて見学できました。

# 北海道開発局優良工事等表彰(帯広開発建設部長表彰)



工事部門

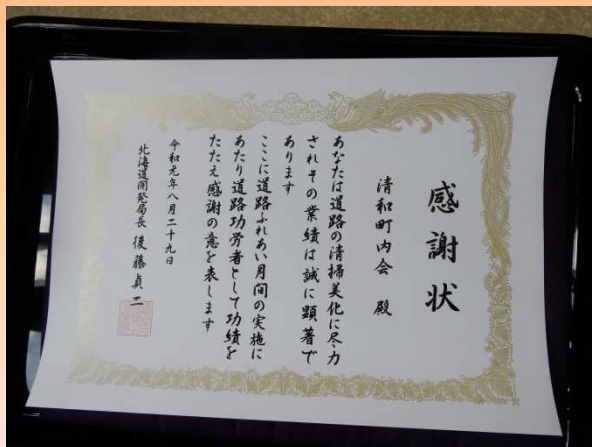


業務部門

帯広開発建設部では、例年工事等に係る技術の向上を図ることなどを目的として、優れた施工を行いあるいは優良な成果を収めた企業及び技術者を表彰しています。今年度は、平成30年度に完成した工事及び完了した業務を対象に工事6件、業務8件を選定しました。7月29日に、帯広第2地方合同庁舎会議室にて、表彰式が行われました。

## 道路功労者表彰(国土交通省北海道開発局長表彰) 伝達式

8月29日に、清水町役場で、道路功労者表彰受賞者である清水町の清和町内会に感謝状を授与し表彰しました。この受賞は、国土交通省が進める「ボランティア・サポート・プログラム」の実施団体として、13年間にわたり、国道38号十勝清水防災ステーションにおいて、植樹帯の花植や水やり、除草等を行っている功績によるものです。





## 都市・地域再生等利用区域指定 手交式

「都市・地域再生等利用区域」の指定に伴い、9月5日、北海道開発局から帯広市に対して、区域の指定書の手交式を行いました。北海道内では、平取町、音更町に続いて3例目です。この「都市・地域再生等利用区域」に指定されると、オープンカフェ、イベント活動等の営業活動を行う事業者等による河川敷地の利用が可能となります。河川の恒常的かつ適正な利活用の促進が期待されます。

報道発表資料



## オビヒロホコテン のりもの大集合に参加

7月28日、帯広市の中心市街地活性化の活動であるオビヒロホコテンのりもの大集合に参加しました。当部では衛星通信車を展示しました。多くの方が国土交通省の帽子やベストを着用して写真撮影をしたり、車内の機械を見たりしながら、衛星通信車の役割を知ってもらう機会となりました。



## 帯広第2地方合同庁舎の来客者用駐車場の利用について

8月5日から、帯広開発建設部が入居しています、帯広第2地方合同庁舎の来客者用駐車場が使用できるようになりました。

